

平成18年度 第2回意見交換会報告

日時： 平成18年9月16日（土） 13:00～16:00

場所： 大阪新阪急ホテル

出席者（敬称および所属略 順不同）：

祐川英基、増田淳二、青木豊、岡田孝、吉栄康城、樋口隆哉、塩沢浩明、林浩昭、
喜多純一、橋場常雄、神長大介、高山洋一、竹井弘至、小坂芳雄、伊藤英武、
大林真人、永井章孝、大宅秀雄、小川正敏、米谷英二、渡邊甫、恒谷昌春、
石丸比里、瀬戸口泰弘 以上24名

1. 講演報告

演題「人間のにおいの認知 ―脳活動に及ぼす認知要因―」

講師 坂井信之殿（神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科）

人間の認知システムの特性、においの認知と脳活動、におい環境と生活の質の向上について講演された。ジュース、アイスクリームおよびペットボトル入りお茶の例を用い、視覚的に捉えた状況や先入観などによりインプットされた情報で人の感じるおいしさが変動することについて説明された。人の欲求や気分・記憶に対して満足されることや先入観との対比などによって、においは評価されるので個々により異なることも説明された。においの感受には個人差があることをfMRIによる応答計測の事例を用いて解説された。視覚刺激では同じ部位が活性を見せているが、においについては個人ごとに違う部位が活性化されている画像が示された。

においに対するイメージをあらかじめ教示されていると、その先入観により快・不快の感じ方が影響を受けることについて事例を示し説明された。また、同様に順応に対しても影響を与えることが説明された。

においに対する先入観として、ある条件付けで発生したにおいが記憶され、同じにおいを感じたときにその記憶がトップダウン的に思い起こされることが説明された。

結びの言葉として次のように述べられた。

質の高いにおい・かおり環境は、人の生活の質（QOL）の向上に貢献できる。

悪臭の対策はもちろんのこと、よいかおりについての研究・施策を進めていく必要がある。すべての人がよいにおい・かおり環境で生活できることを願っている。

2. 協会活動状況報告

事務局より協会

の活動報告がなされた。

○ 今年度の環境省委託事業について説明された。

○ 協会事業について説明された。

- 1) 脱臭ナビ
- 2) 臭気対策アドバイザー制度の推進状況
- 3) 器材推奨制度の実施状況
- 4) 技能向上研修会について
- 5) 臭気判定士試験について
- 6) ANOMECについて